



待避所工：待避所を設置することで、安全にすれ違いができるようになりました。



防護柵工：防護柵を設置したことで、来訪者が安全に通行できるようになりました。



低高欄更新：高欄を更新することで来訪者が安全に通行できるようになりました。

利用状況

(利用者の声)

■県道は道幅が非常に狭く、対向車がいる時はすれ違いが困難でした。また、ガードレールも設置されていない所が何箇所もあり転落の危険性もありました。この事業で整備していただいたことにより、危険性がある程度解消され感謝の声を多く聞いています。

管理状況

「高瀬川渓谷を育む会」「高瀬川・請戸川流域地域づくりの会」が定期的に草刈り、ゴミ拾い等地域づくり活動として実施しています。

関係機関

- 福島県相双建設事務所 企画調査課 TEL : 0240-26-1228
- 浪江町 建設課 TEL : 0240-34-0208
- 葛尾村地域振興課 TEL : 0240-29-2111
- 高瀬川・請戸川流域地域づくりの会 (事務局 浪江町建設課)

渓谷美と安全に安心して楽しくふれあう
～高瀬川渓谷を歩こう～

高瀬川渓谷地区

浪江町、葛尾村

相双建設事務所
計画期間：H16～

地域づくりの方針

“高瀬川渓谷”等の自然との共存や良好な景観の形成を図るとともに“大堀相馬焼”などの観光資源を連携させた“おもてなしの心”による地域づくり

主な事業内容

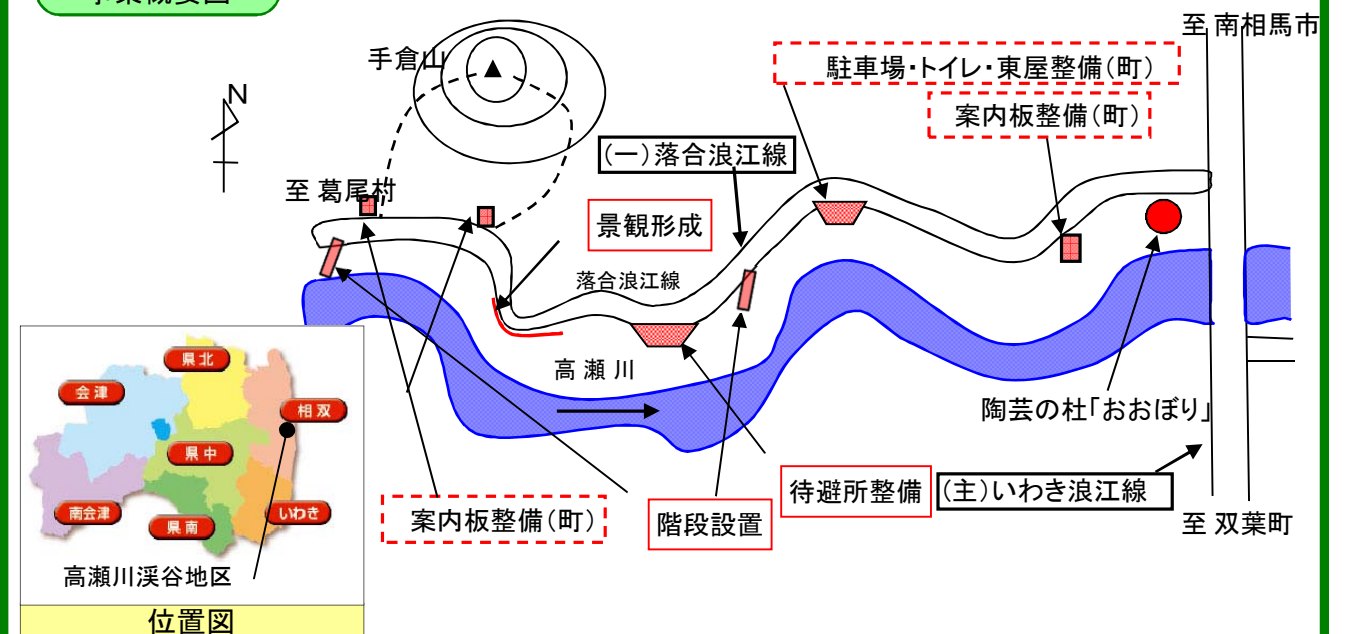
高瀬川渓谷に訪れる方を“おもてなしの心”で迎え、安全に安心して、楽しくふれあうために、

待避所や防護柵

を整備しました。



事業概要図



地域の現状

高瀬川渓谷は、阿武隈高原中部県立自然公園内に位置し、年間を通した「美しい姿を表す渓谷美」や「癒しを提供する清流」など、貴重かつ重要な観光資源となっています。また、周辺には、「大堀相馬焼」「泉田川築場」「請戸漁港」「中心市街地で行われる十日市、ストリートフェスタ、月いち屋台村」など、いずれも双葉郡を代表する重要な観光資源が数多く存在します。

これらの魅力ある地域資源を広く周知するとともに、来訪者へのもてなしの体制づくりを地域一体となって進め、地域の活性化及び交流人口の拡大が望まれています。

地域づくりのあゆみ

平成16年

- ・周辺行政区長等からなる54名の「高瀬川渓谷を育む会」を設立。
- ・ハード対策として景観形成（高欄・防護柵・標識更新）を実施。

平成17年

- ・住民協働のワークショップを開催、「地域づくり計画（整備計画）」を策定。
- ・地域づくりの活動範囲を流域全体に拡大するため、浪江・葛尾両住民15名による「高瀬川・請戸川流域地域づくりの会」を発足。

平成18年

- ・「高瀬川渓谷散策ガイド（マップ）」「ポスター」「ニュースレター」の作成、配布。
- ・浪江町で駐車場・トイレ・東屋・案内看板整備をH18電源立地交付金を活用し実施。

平成19年

- ・「高瀬川・請戸川流域地域づくりの会」主催で宿泊体験ツアーを実施。
- ・景観形成（高欄5橋・防護柵・待避所4箇所・標識更新）を実施。

平成20年

- ・「高瀬川・請戸川流域地域づくりの会」主催で高瀬川渓谷散策イベントを実施。
- ・渓谷見どころ案内看板を設置。

地域づくりを進めてきた中での課題及び解決策

（県担当者）

■高瀬川渓谷地区に人を呼び込む活動に取り組んでいますが、沿線の県道落合浪江線は、落石等の交通危険箇所が随所にあり、これらの抜本的な解消は現実的に不可能であり、現在は散策イベント等のコースになる最小限の危険箇所対策を行っています。このような危険箇所が数多くある地域にも関わらず、積極的に人を呼び込む活動を行っている現実に悩んでいます。

（地元住民）

■話し合った地域づくり活動を実行するためには法の制約が多々あり大変でした。例えば宿泊体験では、旅行業法上の制約で、不特定多数の人にチラシ等を使用して参加者を募集することが出来ず、地域づくりの会の会員の友人・知人から参加者を集めました。（特に県外からの参加者を集めるのに苦労しました。）

■また、散策イベントを実施した際、参加人数が予定より多く、また悪天候であったため、安全管理等の運営を会メンバーだけで行うのは難しかったです。結果的には役場職員に応援をお願いしたため、スムーズにイベントを進行できました。

実施した感想

（県担当者）

■地域の方たちの中へ入り込み、一緒に活動し、地域づくりについて考える機会を得られたことにより、これまでの業務では味わうことの出来ない貴重な体験が出来ました。これにより、今後他業務を行っていく上で考えの幅が広がったと思います。

（町担当者）

■他市町村、県関係者と連携して地域づくりに取り組めたことは大変良かったです。高瀬川渓谷周辺整備としてH18電源立地交付金を活用し、駐車場・トイレ・東屋・案内看板整備を実施し、近隣住民ならびに観光客に喜ばれたことは、大変うれしく思います。

（地元住民）

■宿泊体験、高瀬川渓谷散策イベントを実施したところ、参加者から「また参加したい。」「地元の人間だが、知らないことがたくさんあり新たな魅力を発見することが出来てよかった。」などの喜びの声を多く聞けたことは大変良かったです。

事業の効果

春のウォーキング



秋のウォーキング



■高瀬川渓谷散策イベントを開催

春と秋に開催。参加者はいずれも約60人程度でした。秋のウォーキング時は、地元の行政区によりとん汁が振る舞われました。

PR活動及びアンケート調査



■高瀬川渓谷の魅力を積極的にPR

毎年5月のゴールデンウィークに浪江町の『陶芸の杜おおぼり』で行われる「大せとまつり」に参加し、高瀬川渓谷写真展、散策ガイドマップの配布等、高瀬川渓谷のPR活動及びアンケート調査を実施しました。

■“おもてなしの心”で道路環境美化活動

「高瀬川渓谷を育む会」で行っている一般県道落合浪江線の環境美化活動に「高瀬川・請戸川流域地域づくりの会」も参加し、活動範囲を拡大した。ゴミ拾い、沿道の草刈り等を実施しました。

道路環境美化活動



元気づくりの立役者たち

高瀬川渓谷美



大堀相馬焼



泉田川築場



請戸漁港



地域の課題・今後の展望

歴史的・文化的価値がある“大堀相馬焼”と、四季折々様々な顔を見せる“高瀬川渓谷”の連携からなる地域づくりを当面の展開とし、その後「街・海」まで連携させた地域づくりの展開を考えています。

地域づくりの会のメンバーは行政機関を除くと50～60代の方々に構成されており、年齢層が高く、今後、地域づくり活動を継続していこうと考えた場合、若い世代を取り込み、活動を引き継いでいく必要があります。